



## 経口補水液の作り方

通常水分は大腸から吸収されます。ところが大腸が炎症を起こすと水分の吸収がうまくできなくなるため、下痢になります。

経口補水液は小腸から水分を吸収させる方法です。

経口補水液はOS-1という商品名で市販されていますが、家庭で作ることも可能です。

1ℓの水に砂糖を大さじ4と2分の1杯と塩を小さじ2分の1杯加えます。これにレモン汁を適量加えると飲みやすくなります。

水分摂取のコツは、一度にゴクゴクと飲まないことです。胃の中に物がたまると、反射で胃と腸は動きだします。このため水分を一生懸命摂取すればするほど、おう吐と下痢がひどくなる悪循環になります。

ですから、少量ずつを頻回に摂取することが肝心です。

内科・循環器内科・漢方外来・リハビリテーション

**森 医 院** <http://www.moriiin.com/>

〒500-8322 岐阜県岐阜市香取町 3-48 TEL : 058-251-4452

### 院長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/moriiin5656/>

ケータイ版はこちら→



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	/	○	/	/

## 森医院通信

# やまいのはなし

2013年11月号

Pickup!

## 桂枝加芍薬湯 (けいしかしゃくやくとう)

構成生薬	けいし しゃくやく しょうきょう たいそう かんそう 桂枝, 芍薬, 生姜, 大棗, 甘草
効果・効能	腹部膨満感のある次の諸症 しぶり腹, 腹痛

今まで腸疾患に対する方剤は、半夏瀉心湯、真武湯、五苓散と紹介してきました。今回の桂枝加芍薬湯はお腹がシクシク痛むときに使う方剤です。

元は桂枝湯というカゼに使う方剤の芍薬を増量したのですが、芍薬を増量するとカゼ薬ではなくなり、お腹の薬に変わってしまいます。これが漢方薬の不思議なところで、構成生薬だけでなくその分量によっても作用が違ってきます。

ちなみに桂枝加芍薬湯に<sup>だいおう</sup>大黄を加えると桂枝加芍薬<sup>けいし かしやくやくだいおうとう</sup>大黄湯となり、お腹に優しい便秘薬になります。